

質問日	令和4年9月30日(金)		質問方式	分割方式			
質問順位	8	会派名	自由民主党浜松	議席番号	42	氏名	渥美 誠
表 題	質 問 内 容					答弁者の職名	
1 新清掃工場及び新破砕処理センター稼働開始に伴う廃棄物処理施設の体制等について	<p>新清掃工場及び新破砕処理センター施設整備事業が、令和6年4月の施設稼働に向け、関連工事等を順調に進めている。現在、コロナ禍、ウクライナ侵攻等により、社会、経済状況に変化も見られるが、予定通りの供用開始に向け全力を注いでいる。完成後は、廃棄物処理が新清掃工場及び新破砕処理センターと西部清掃工場との2工場体制となる。そこで、以下3点について伺う。</p> <p>(1) 新施設について伺う。</p> <p>ア 資材等の高騰には契約約款条項対価の改定が適用されるが、今回、この規定の対象となる項目及び受注者負担率並びに請負変更額について伺う。</p> <p>イ モニタリング業務は、PFI事業を遂行する上で大変重要と考えるが、今後行うモニタリング業務の目的、進め方について伺う。</p> <p>ウ 運営期間を20年間とするPFI事業を開始するが、焼却溶融炉耐用年数を最大何年間と想定しているのか、また、施設更新に向けた考え方について伺う。</p> <p>エ 工場敷地内に市の事務所の設置が予定されているが、運営、業務内容について伺う。</p> <p>(2) 現在、ごみ処理機能を停止している、旧ごみ処理5施設の解体計画及び跡地対策について伺う。</p> <p>(3) 新清掃工場及び新破砕処理センターは調整池が施設敷地外にあるが、西部清掃工場は更新用地内にあるため、調整池整備には対策が必要と考える。西部清掃工場新調整池整備の考え方及び移転後の現清掃工場跡地の扱いについて伺う。</p>					藤田環境部長	
2 天竜区阿蔵山開発と周辺整備について	<p>昭和54年、国道152号バイパスルート3案が示され、阿蔵山オープンカットと阿蔵山周辺開発のセット方式ルートが採用された。その後、都市計画決定、開発行為許可が行われ、平成5年より山土の搬出を開始し、阿蔵山がその形質を変える開発事業を本格着工した。以来、約30年が経過したが、現在、阿蔵山開発事業が大きく前進している。表裏一体である国道152号浜北天竜バイパス開通と阿蔵山分譲は、地域住民の長年の願いであり、さらに、阿蔵山整備はまちづくりの一環でもある。そこで、以下3点について伺う。</p> <p>(1) 天竜区阿蔵山開発について伺う。</p> <p>ア 開発の考えについて伺う。</p> <p>イ 具体的な取組とスケジュールについて伺う。</p> <p>(2) 国道152号浜北天竜バイパスのストック効果及び未</p>					鈴木市長 藤野産業部長 伏木土木部長	

※二重線は、分割方式を選択した場合の分割箇所を示すものです。

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
	<p>整備区間の実施計画策定について伺う。</p> <p>(3) 歴史的風致維持向上計画の国の認定を受け、阿蔵山を含めた二俣地域のまちづくりの考えを伺う。</p>	井熊都市整備部長
3 浜松市斎場再編・整備及び運営について	<p>斎場再編・整備方針に基づき、合併による現行7斎場を浜松、浜北、雄踏、佐久間・水窪の4斎場への集約化、有効活用化を進めている。葬儀、祭儀は、故人との最後の別れとなる「野辺送り」の儀式でもあった。そこで、以下2点について伺う。</p> <p>(1) 斎場再編・整備方針では、天竜斎場、春野斎場を浜北斎場整備後に廃止としているが、今後について考えを伺う。</p> <p>(2) コロナ禍における斎場運営について伺う。</p>	奥家市民部長
4 光ファイバ整備支援について	<p>光ファイバ整備が本年3月に完了し、受益区域の大幅な拡充により、光回線への接続サービスを順次開始したが、一方で未整備地域への対策が浮き彫りとなった。また、総務省が「デジタル田園都市国家インフラ整備計画」を公表、当面の目標を前倒し、必要とする全地域の整備を目指す。そこで、以下2点について伺う。</p> <p>(1) 整備後の世帯カバー率、サービス提供状況及び今後の見通しについて伺う。</p> <p>(2) 残された未整備地域への今後の対応について伺う。</p>	内藤デジタル・スマートシティ推進部長
5 林業通信インフラ整備について	<p>林業労働災害は、関係者の努力により減少傾向に推移しているが、労働者1000人当たり1年間に発生する死傷者数の割合（年千人率）が全産業の中で最も高く、災害発生直後の連絡手段確保が喫緊の課題となっている。今年度、消費電力が少なく、遠距離通信が可能な無線技術（LPWA）サービスをモデル地域林業従事者へ提供開始する。そこで、この林業通信インフラ整備事業について、以下2点について伺う。</p> <p>(1) LPWA活用推進事業の取組について伺う。</p> <p>(2) LPWA通信を活用した今後の展望について伺う。</p>	清水農林水産担当部長
6 職員の働き方改革について	<p>地方公務員法の一部を改正し、定年の引上げと、併せて役員定年制、定年前再任用短時間勤務制が導入された。複雑高度化する行政課題への的確な対応が法改正の趣旨である。こうした中、職員がそれぞれの事情に応じ、自身が多様で柔軟な働き方を選択する職場に変えていく機会と考える。そこで、以下4点について伺う。</p> <p>(1) 今後、条例施行に伴い想定される高齢期職員の働き方に係る課題と対応策について伺う。</p> <p>(2) 働き方改革を進めるための様々な研修が充実しているが、その実施状況、今後の取組について伺う。</p> <p>(3) 働き方改革では、業務課題の明確化、業務改善が重要</p>	金原総務部長 〃

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
	<p>と考える。現在、市長部局では、業務量調査の結果を基に、業務の見える化、無駄の抽出に取り組んでいる。また、教育委員会でも、教員の業務改善に向けた同様の調査を行っている。そこで、以下の点について伺う。</p> <p>ア 昨年度実施した「業務量全体調査」の結果分析及び業務改善に向けた今後の取組について伺う。</p> <p>イ 教員に対する調査の実施状況及び今後の取組について伺う。</p> <p>(4) 今後の職場環境の変化や改善に資する、職員向け働き方改革の指針策定について考えを伺う。</p>	<p>内藤デジタル・スマートシティ推進部長 田中学校教育部長 金原総務部長</p>